



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所
コード番号 6495 URL <http://www.mivairi-valve.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平綿孝之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5572

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,799	6.5	190	△39.6	181	△42.4	188	△50.3
22年3月期第3四半期	3,568	3.1	314	—	315	—	378	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	3.94	3.55
22年3月期第3四半期	7.93	7.14

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	7,041	2,986	42.4	62.48
22年3月期	6,961	2,816	40.5	58.93

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,986百万円 22年3月期 2,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	14.0	500	20.1	480	14.9	460	△6.0	9.62

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	48,849,935株	22年3月期	48,849,935株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	1,047,627株	22年3月期	1,047,626株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	47,802,308株	22年3月期3Q	47,802,354株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
【第2四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国市場の需要拡大に伴う輸出の増加や政府の経済対策効果などにより一部に景気回復の兆しが見られるものの、欧米諸国の財政不安、原材料価格の高騰や長期化する円高により企業収益の圧迫が懸念されるなど、依然として厳しい雇用・所得環境下にあり、当面、先行き不透明な情勢が続くものと見られております。

このような状況のもと、当社の売上高につきましては国内LPG業界の貯槽およびバルク供給システムへの投資減退のあおりを受けたものの、国内および海外向けのLPG船舶用弁類の寄与と海外向け鉄鋼製弁類の売上が堅調に推移したことと、主要原材料である黄銅材の屑売上高が増加したことにより、当第3四半期累計期間における売上高は、3,799百万円（前年同期比6.5%増）となりました。なお、年度当初見込んでおりました新規海外向け売上げは進捗が遅れ本格的な受注・販売は来期にずれ込む予想です。

収益面につきましては、主力製品であります液化石油ガス容器用弁の販売数量は微増しましたが、販売価格が下落したことと、黄銅材の購入価格が前年同期と比較して上昇したことから収益性は悪化（売上総利益率対前年同期比4.9ポイント下落）しました。また、LNG・CO2関連等の新製品開発費用および新規海外の事業展開が先行投資となっていること等から、販売費及び一般管理費が増加し、この結果、当第3四半期累計期間において営業利益は190百万円（前年同期比39.6%減）、経常利益は181百万円（前年同期比42.4%減）となり、特別利益に前期末に見積計上した賞与引当金の戻入額40百万円を、特別損失に工場設備の除却損22百万円を計上したことにより、四半期純利益は188百万円（前年同期比50.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて、141百万円増加して3,591百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少391百万円による一方で、長期借入れおよび割引手形の増加に伴う現金及び預金の増加114百万円ならびに容器弁増産に伴う棚卸資産の増加416百万円によるためです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、61百万円減少して3,449百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少24百万円、投資有価証券の減少28百万円および長期貸付金の回収による減少15百万円によるためです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、79百万円増加して7,041百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて、139百万円減少して1,263百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加100百万円による一方で、支払手形及び買掛金の減少112百万円および1年内償還予定の社債の減少60百万円によるためです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、49百万円増加して2,791百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加93百万円および社債の減少40百万円によるためです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、89百万円減少して4,054百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、169百万円増加して2,986百万円となりました。これは主に、利益剰余金が四半期純利益の計上により188百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の40.5%から42.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前事業年度末に比べて、98百万円増加し、829百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は68百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益197百万円および割引手形の増加182百万円による一方で、生産増加に伴うたな卸資産の増加416百万円および売上債権の減少189百万円によるためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は63百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出60百万円によるためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は93百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入100百万円および長期借入れによる収入200百万円による一方で、社債の償還による支出100百万円および長期借入金返済による支出106百万円によるためです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表した通期の業績予想を平成23年2月10日に修正しております。

詳細については、平成23年2月10日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸資産については実地棚卸を一部省略し、また、簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3) 繰延税金資産の算定方法

当第3四半期会計期間末の繰延税金資産の回収可能性に関しては、前事業年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益および税引前四半期純利益に与える影響はありません。

(追加情報)

退職給付引当金

当社は、平成22年12月1日で適格退職年金制度を廃止し、退職給付制度の一部を確定拠出年金制度へ移行いたしました。

これにより、当社は「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日)を適用し、確定拠出年金制度等への移行部分について退職給付制度の一部終了を行っております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,225,131	1,110,307
受取手形及び売掛金	1,079,516	1,471,245
商品及び製品	815,276	543,567
仕掛品	63,229	63,982
原材料及び貯蔵品	450,526	304,807
その他	127,250	125,643
貸倒引当金	△169,038	△169,038
流動資産合計	3,591,893	3,450,515
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	141,149	161,504
構築物(純額)	31,216	34,908
機械及び装置(純額)	240,136	253,732
車両運搬具(純額)	1,494	852
工具、器具及び備品(純額)	36,730	21,653
土地	2,506,900	2,506,900
建設仮勘定	—	2,677
有形固定資産合計	2,957,627	2,982,228
無形固定資産		
電話加入権	2,810	2,810
その他	52,943	56,704
無形固定資産合計	55,753	59,514
投資その他の資産		
投資有価証券	143,831	171,980
長期貸付金	3,560,000	3,575,000
その他	270,061	299,167
貸倒引当金	△3,537,849	△3,577,055
投資その他の資産合計	436,043	469,092
固定資産合計	3,449,424	3,510,835
資産合計	7,041,317	6,961,351

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	613,776	725,941
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	139,588	139,508
1年内償還予定の社債	80,000	140,000
未払法人税等	13,838	17,737
賞与引当金	22,448	80,820
製品保証引当金	7,949	25,000
その他	286,098	273,875
流動負債合計	1,263,700	1,402,882
固定負債		
社債	60,000	100,000
新株予約権付社債	800,000	800,000
長期借入金	412,603	319,035
再評価に係る繰延税金負債	967,404	967,404
退職給付引当金	537,578	534,155
その他	13,422	20,881
固定負債合計	2,791,008	2,741,476
負債合計	4,054,709	4,144,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,507,423	3,507,423
資本剰余金	1,549,401	1,549,401
利益剰余金	△3,374,567	△3,563,034
自己株式	△157,210	△157,210
株主資本合計	1,525,046	1,336,579
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,454	29,305
土地再評価差額金	1,451,107	1,451,107
評価・換算差額等合計	1,461,561	1,480,413
純資産合計	2,986,608	2,816,992
負債純資産合計	7,041,317	6,961,351

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,568,850	3,799,914
売上原価	2,618,480	2,973,878
売上総利益	950,369	826,036
販売費及び一般管理費	635,663	635,986
営業利益	314,706	190,050
営業外収益		
受取利息	1,321	372
受取配当金	926	882
有価証券運用益	12,015	—
不動産賃借料	—	3,388
スクラップ売却益	—	5,528
その他	15,520	6,139
営業外収益合計	29,784	16,311
営業外費用		
支払利息	4,067	7,815
社債利息	2,233	1,314
手形売却損	10,860	11,807
デリバティブ評価損	5,286	—
訴訟関連費用	5,000	—
その他	1,250	3,457
営業外費用合計	28,697	24,395
経常利益	315,793	181,966
特別利益		
投資有価証券売却益	27,497	—
貸倒引当金戻入額	5,147	12,004
賞与引当金戻入額	—	40,409
特別利益合計	32,645	52,414
特別損失		
固定資産除却損	6,296	22,710
投資有価証券売却損	80	—
環境対策費	—	2,600
役員退職慰労金	29,812	11,616
特別損失合計	36,188	36,927
税引前四半期純利益	312,249	197,453
法人税、住民税及び事業税	9,016	8,985
法人税等調整額	△75,600	—
法人税等合計	△66,583	8,985
四半期純利益	378,833	188,467

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,345,370	1,244,848
売上原価	942,599	993,822
売上総利益	402,771	251,025
販売費及び一般管理費	234,946	203,068
営業利益	167,824	47,957
営業外収益		
受取利息	271	112
受取配当金	332	336
不動産賃貸料	—	1,113
スクラップ売却益	—	2,809
助成金収入	5,268	—
その他	4,899	918
営業外収益合計	10,772	5,290
営業外費用		
支払利息	1,238	3,082
社債利息	665	358
手形売却損	3,309	4,093
その他	73	505
営業外費用合計	5,286	8,040
経常利益	173,310	45,207
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,500
特別利益合計	—	2,500
特別損失		
固定資産除却損	1,504	106
投資有価証券売却損	72	—
特別損失合計	1,576	106
税引前四半期純利益	171,734	47,601
法人税、住民税及び事業税	3,005	2,995
法人税等調整額	△75,600	—
法人税等合計	△72,594	2,995
四半期純利益	244,328	44,606

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	312,249	197,453
減価償却費	82,878	86,824
貸倒引当金の増減額(△は減少)	68,964	△39,205
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,226	△58,371
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△65,262	3,422
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△17,050
受取利息及び受取配当金	△2,248	△1,255
支払利息	6,300	9,130
有価証券運用損益(△は益)	△12,015	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△27,417	—
固定資産除却損	6,296	22,710
売上債権の増減額(△は増加)	△84,840	189,983
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,503	△416,676
仕入債務の増減額(△は減少)	125,010	△113,405
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,925	△26,955
割引手形の増減額(△は減少)	151,034	182,522
その他	66,449	68,325
小計	512,595	87,453
利息及び配当金の受取額	2,328	1,207
利息の支払額	△5,675	△8,299
法人税等の支払額	△11,982	△12,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	497,267	68,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	19,134	—
有形固定資産の取得による支出	△70,934	△60,711
無形固定資産の取得による支出	△12,885	△1,070
投資有価証券の取得による支出	△331	△340
投資有価証券の売却による収入	122,677	—
貸付金の回収による収入	15,000	15,000
定期預金の増減額(△は増加)	△46,014	△16,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,644	△63,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入れによる収入	115,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△76,240	△106,352
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△3	△0
自己新株予約権の取得による支出	△16,000	—
配当金の支払額	△1,362	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,606	93,607
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	445,305	98,818
現金及び現金同等物の期首残高	96,680	731,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	541,985	829,897

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	1,911,322	15.7
LPG用弁類・機器	1,390,339	10.8
その他弁類・機器	211,638	63.5
その他	10,501	96.1
合計	3,523,802	15.9

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期累計期間の受注実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	1,719,094	△4.6	75,846	△18.7
LPG用弁類・機器	1,173,510	△9.1	196,130	△43.8
その他弁類・機器	192,076	△0.1	90,037	△17.4
その他	162,292	64.8	39,135	345.7
合計	3,246,973	△4.1	401,150	△28.4
(うち輸出高)	180,036	25.6	50,797	△80.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	販売実績(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	1,659,641	△2.4
LPG用弁類・機器	1,284,901	0.8
その他弁類・機器	218,748	69.5
その他	126,594	32.9
屑売上高	510,028	37.9
合計	3,799,914	6.5
(うち輸出高)	181,678	172.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。